

地域支援センター「しせい」

第8号 地域支援センター通信【平成31年2月22日発行】

相馬支援学校では、今年度計17回の親子学級が開催されました。それに合わせて、懇談会や座談会等も行われました。今回は、2月7日に行われた親子学級の閉級式の様子と、今年度の懇談会等について紹介したいと思います。

◇親子学級閉級式の様子

2月7日(木)に親子学級の閉級式が行われました。いつもとは少し違う雰囲気を感じていた子供たちも、校長先生より修了証書を授与されると笑顔になり、渡された証書を友達や保護者に見せる姿が見られました。

保護者の方々から一言ずつ感想を頂くと、「子供は毎回の親子学級を楽しみにしているようです。」「親や子供が安心できる場でした。」等という感想が挙げられました。

今年度は17回の活動に10名のお子さんと保護者の方が参加しました。歌遊びや絵本の読み聞かせ、おやつ作りや外遊び等、見通しをもちながら、教師や友達とのかかわり合いが増えるような活動を設定してきました。保護者の方には、お子さん方の様子を間近で見て変化を捉えたくさん褒めて頂き、お子さん方も嬉しかったことと思います。

年間を通し、お子さん方が育つのと同時に、お母さん方の表情が変わっていくことがとても印象的で、親子学級は親子とも成長できる場なのだと、改めて感じました。今後もすすくと育つ親子を応援できるような、親子学級の運営を行ってまいります。



【修了証書授与の様子】

◇親子学級懇談会等の様子

今年度の親子学級では、懇談会や座談会、講演会等を計4回行いました。

1回目 「幼児期の生活習慣作づくりや性教育について知ろう」「多様な学びの場について知ろう」

本校養護教諭や本校教育支援アドバイザーから

2回目 「子どものできることを褒めて、育てよう！」

福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室

特任助教 佐藤 則之 氏

3回目 「家庭や学校での支援～子育ての悩みについて話し合おう～」

本校生徒保護者の方から

4回目 「就学先をどう選べば良いのか？」

本校教育支援アドバイザーから

以上のような様々な内容で行いました。

懇談会等では、子供と取り組んでうまくいっていることや困っていること、悩んでいること等を参加者全員で話し合いました。保護者の方からは「子供との関わりについて改めて知ることが多かった。」「1年間で子どもの成長を強く感じた。」など前向きな感想をいただきました。



【講演会の様子】

相馬支援学校・就労に向けた取り組みのご紹介

前回までは、小・中学部の手作り教材についてご紹介してきました。本号では、社会参加を間近に控えた高等部での就労に向けた取り組みの様子についてご紹介します。

「働くことについて考えよう～職場見学～」

高等部 1 学年の職業科では、卒業後の進路を具体的に捉えるために、事業所や企業に見学に行き、実際の「働く」現場を学んでいます。働くことについて疑問に思っていることや、働く上で大切なことなどを、本校の卒業生や職員の方に質問して、進路を身近に感じたり、「今（高等部段階で）」頑張ることについて理解を深めたりできるよう取り組んでいます。



【福祉サービス事業所見学の様子】

所長さんの話を聞いて、大事なことをワークシートにメモしています。

【企業見学の様子】

バックヤードを見学し、接客以外にも様々な仕事があることを学んでいます。



実際に見学をしてきた事後学習として、事業所と企業それぞれの違いを踏まえながら模造紙にまとめ、高等部の廊下に掲示しています。主な仕事（作業）内容や、職員の方や卒業生から聞いた質問の答えなどを書き出し、そこから「働く上で今、大事にすること」を自分たちで考え、実践できることから取り組んでいます。

まとめられた模造紙には、「挨拶」「相手に伝えること（やりとり、敬語）」「集中すること」「チームワーク」「笑顔」などが大切なこととして挙げられています。このような学習を通して、生徒一人一人が働くことに対しての興味関心や心構えを養い、自立に向けての意識を高めていけるよう取り組んでいます。

